



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月24日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名  
 コード番号 8190 URL http://www.super-yamanaka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)清水 泰晴 (TEL)052-937-9310  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年3月21日~2019年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,727	△1.8	233	80.5	278	114.6	194	207.1
2019年3月期第1四半期	24,164	△0.7	129	36.3	129	20.9	63	133.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △22百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 165百万円(△38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.17	—
2019年3月期第1四半期	3.31	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,162	15,321	40.1
2019年3月期	36,493	15,441	42.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,321百万円 2019年3月期 15,441百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日~2020年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,900	△0.3	200	△33.0	250	△27.0	150	△35.5	7.83
通期	97,700	0.7	700	△6.9	780	△12.9	420	△14.5	21.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	20,425,218株	2019年3月期	20,425,218株
2020年3月期1Q	1,270,411株	2019年3月期	1,270,411株
2020年3月期1Q	19,154,807株	2019年3月期1Q	19,144,057株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期1Q108,300株、2019年3月期108,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期1Q108,300株、2019年3月期1Q119,100株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は緩やかな回復基調が続くものの、消費者の節約志向は依然として根強く、世界経済における貿易摩擦の長期化や不確実な政治情勢などの影響による輸出や生産の落ち込みが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、業種・業態を越えた競争の激化や販売チャネルの多様化、人手不足による人件費や物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか当社グループは、2022年の創業100周年を飛躍の年にするために、安定的に利益が出る基盤を作ることを目的に、「笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す」というビジョンを掲げ、2019年3月期を初年度とする中期3ヵ年計画を策定し、持続的成長に向けた構造改革に全社を挙げて取り組んでおります。

商品政策では、幅広い年代のお客様から支持いただける売場づくりを目指し、主に子育て世代へ向けた大量目商品の拡充やカット野菜、味付け商材を用いた時短メニューの提案、また、シニア世代へ向けた小量目でありながら上質な商品の品揃え強化やこだわりのワインやチーズ、地産地消を意識した地場野菜や地元商品を幅広く展開し、商品の見直しや陳列替えを実施しました。また、日配品や米飯類の製造・販売を行う連結子会社のサンデイリー株式会社を効果的に活用し、商品の品質向上や店舗での製造工程の効率化に取り組んでまいりました。

販売政策では、お客様に当社の電子マネー付きポイントカード「グラッチェプラスカード」のお得感や買い物の楽しさを感じていただけるよう、ボーナスポイント商品の拡充や電子マネーチャージキャンペーンの開催、ビンゴスタンプラリーや雨の日にご来店いただいた際にポイントを進呈する「雨の日スタンプカード」の配布などを実施してまいりました。

店舗政策では、お客様のレジ待ち時間の短縮による利便性の向上やレジ業務の効率化を目的に安田店（名古屋市昭和区）へセルフ精算レジを導入いたしました。

以上のような施策により、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は、閉店による影響や既存店売上高が前年同期比99.3%にとどまったことから237億27百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面では、生産性向上の取り組みによる人件費の抑制や当初予定していた設備投資の一部が第2四半期以降にずれ込んだことなどから、販売費及び一般管理費の減少が営業総利益の減少分をカバーし、営業利益は2億33百万円（前年同期比80.5%増）、経常利益は2億78百万円（前年同期比114.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億94百万円（前年同期比207.1%増）となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億68百万円増加し、381億62百万円となりました。これは主に投資有価証券が3億22百万円減少した一方、現金及び預金が21億94百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ17億88百万円増加し、228億40百万円となりました。これは主に有利子負債が15億43百万円、買掛金が3億31百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少し、153億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が98百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が2億27百万円減少したものであることによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想について、現時点においては、2019年4月26日公表の予想数値に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,402	5,596
売掛金	909	963
商品及び製品	2,606	2,572
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	47	47
その他	1,375	1,173
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,341	10,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,350	8,209
土地	9,806	9,806
その他(純額)	1,161	1,275
有形固定資産合計	19,318	19,291
無形固定資産		
借地権	357	353
ソフトウェア	293	273
その他	28	28
無形固定資産合計	680	655
投資その他の資産		
投資有価証券	3,093	2,770
差入保証金	4,142	4,155
繰延税金資産	62	66
その他	863	857
貸倒引当金	△50	△49
投資その他の資産合計	8,111	7,800
固定資産合計	28,110	27,747
繰延資産	42	60
資産合計	36,493	38,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,093	5,424
短期借入金	280	280
1年内償還予定の社債	1,220	1,240
1年内返済予定の長期借入金	916	1,321
未払費用	1,127	1,599
未払法人税等	110	173
賞与引当金	319	96
ポイント引当金	154	146
店舗等閉鎖損失引当金	5	3
資産除去債務	24	17
その他	2,050	1,846
流動負債合計	11,302	12,149
固定負債		
社債	3,190	3,440
長期借入金	3,528	4,397
リース債務	188	180
繰延税金負債	158	39
役員株式給付引当金	39	39
退職給付に係る負債	374	332
長期預り保証金	841	822
資産除去債務	1,325	1,337
その他	102	101
固定負債合計	9,750	10,691
負債合計	21,052	22,840
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,697	5,796
自己株式	△1,962	△1,962
株主資本合計	14,494	14,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,032	805
退職給付に係る調整累計額	△85	△75
その他の包括利益累計額合計	946	729
純資産合計	15,441	15,321
負債純資産合計	36,493	38,162

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年6月20日)
売上高	22,884	22,481
売上原価	17,124	16,797
売上総利益	5,760	5,684
営業収入	1,280	1,246
営業総利益	7,040	6,930
販売費及び一般管理費	6,910	6,696
営業利益	129	233
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	6	5
情報提供料収入	12	12
補助金収入	1	37
その他	18	17
営業外収益合計	46	79
営業外費用		
支払利息	16	11
支払手数料	20	0
賃貸借契約解約損	-	8
その他	8	13
営業外費用合計	46	33
経常利益	129	278
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益	120	278
法人税、住民税及び事業税	37	111
法人税等調整額	19	△27
法人税等合計	57	83
四半期純利益	63	194
親会社株主に帰属する四半期純利益	63	194

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)
四半期純利益	63	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	△227
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	102	△217
四半期包括利益	165	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)及び当第1四半期連結累計期間

(自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。